

蒸留水について

製品仕様

- 容量 : 20L 専用コック付
- 荷姿サイズ : 300×300×280mm
- 英名 : Distilled water
- CAS RN : 7732-18-5
- 規格 : GR

林純薬工業の蒸留水について

蒸留水と超純水の違いとは

蒸留水とは、水を蒸留（一度蒸発させ再び凝縮させることで沸点の異なる成分を分離・濃縮する操作）させることで不純物を除去し純度を高めた水です。

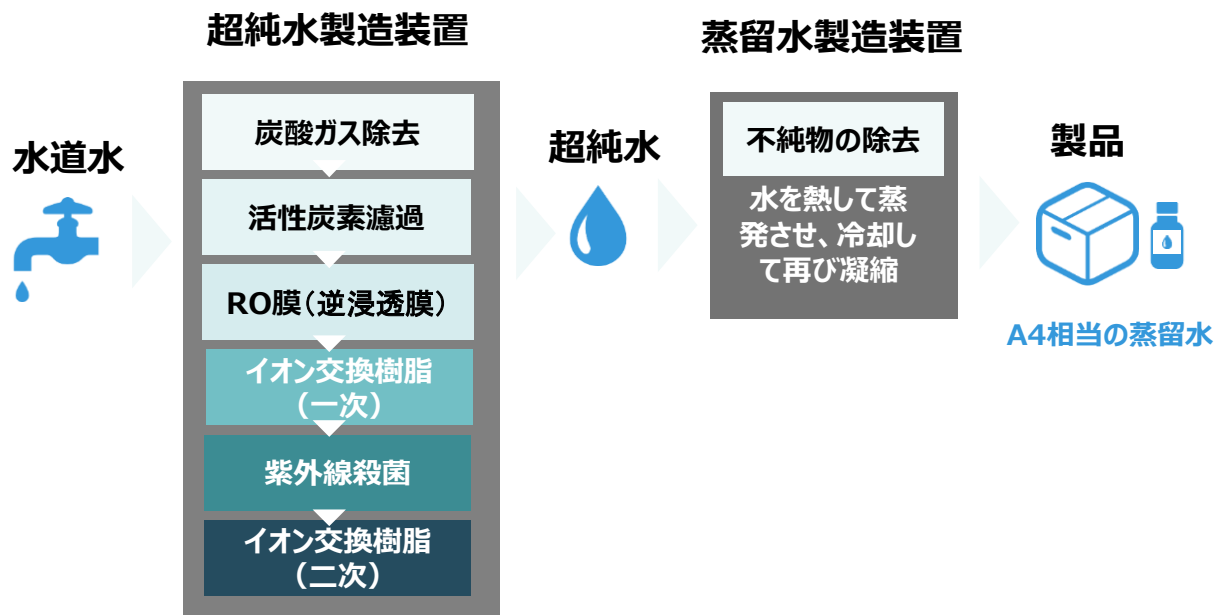
一方、超純水とは、電解質を除去すると同時に、電解質以外の溶解成分である全有機体炭素（TOC）、微粒子、生菌、シリカ成分などを可能な限り除去した水です。

林純薬工業の蒸留水について

林純薬工業の蒸留水の特長

製造工程

- ・林純薬工業の蒸留水は、超純水を蒸留しているため、より不純物の少ない蒸留水（JISK0557 用水・排水の試験に用いる水 A4相当）の提供が可能です。
- ・超純水からA4相当の蒸留水ができるまで、当社では厳しい品質管理の元、以下のような工程を経てお客様の元にお届けしています。



化学分析用__水の規格

項目 (1)	種別及び質			
	A1	A2	A3	A4
電気伝導率mS/m (25℃)	0.5以下	0.1 (2) (3) 以下	0.1 (2) 以下	0.1 (2) 以下
有機体炭素 (TOC) mg/C/L	1以下	0.5以下	0.2以下	0.05以下
亜鉛µgZn/L	0.5以下	0.5以下	0.1以下	0.1以下
シリカµgSiO ₂ /L	-	50以下	5.0以下	2.5以下
塩化物イオンµgCl ⁻ /L	10以下	2以下	1以下	1以下
硫酸イオンµgSO ₄ ²⁻ /L	10以下	2以下	1以下	1以下

注 (1) 試験方法によっては、項目を選択してもよい。また、試験方法で個別に使用する水の規定がある場合は、それによる。

注 (2) 水精製装置の出口水を、電気伝導率計の検出部に直接導入して測定した時の値。

注 (3) 最終工程のイオン交換装置の出口に精密ろ過器などのろ過機を直接接続し、出口水を電気伝導率計の検出部に直接導入した場合には、0.01mS/m (25℃) とする。

参考：「JIS K0557：1998 用水・排水の試験に用いる水」より抜粋

林純薬工業の蒸留水について

製造設備



超純水製造装置



蒸留水製造装置

林純薬工業の蒸留水について

充填から梱包作業



充填から計量まで



トルクレンチにてキャップ締め



梱包

林純薬工業の蒸留水について

品質管理

従来の製品規格保証に加え、容器充填前に有機体炭素(TOC)、一般細菌、大腸菌の検査を実施しています。




微量金属実績値

直近に製造された蒸留水中の以下の微量金属実績は、全て5ppb以下です。

銀(Ag)	アルミニウム(Al)	バリウム(Ba)	カルシウム(Ca)	カドミウム(Cd)	コバルト(Co)
銅(Cu)	鉄(Fe)	カリウム(K)	リチウム(Li)	マグネシウム(Mg)	マンガン(Mn)
ナトリウム(Na)	ニッケル(Ni)	鉛(Pb)	ストロンチウム(Sr)	亜鉛(Zn)	

林純薬工業の蒸留水について

用途例

 工業	 化学研究	 医療
<ul style="list-style-type: none">■ 食品機械の洗浄■ 精密機器の洗浄■ クーラント液 / 冷却水■ 塗料/工業薬品の希釈・溶解■ ボイラー補給用水	<ul style="list-style-type: none">■ 化学分析用水■ 試液調製用水■ 高純度薬品の希釈■ 理化学機器の洗浄■ ボイラー補給用水	<ul style="list-style-type: none">■ 医薬品等の試験

— ご使用できない用途 —

医薬品の製造，容器や設備等の洗浄などに使用される水（製薬用水※）には、ご使用いただけません。

※日本薬局方精製水、滅菌精製水、注射用蒸留水